

昭和七年

E-0112

0047

米局
第一報
昭和七年三月廿五日接達

機密公第十五號

昭和七年三月五日

在オデッサ

領事 田 中文 一

外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿

當地食料難ニ關スル件

當市ニ於ケル配供「パン」ノ定量ハ昨秋新穀出廻期ニ少シク増加シタルモ二日ニシテ舊ニ復シ昨春ノ定メタル量トナリタルカ其後穀物ノ買付思ハシカラス二月中家族被扶養者ニ對スル定量ヲ減シ同月二十一日

E110.5-1

ヨリ労働者ニ對スル定量ヲ減シタリ依テ現在

一、労働者即チ一ノA級ハ一日黒「パン」五百瓦ニシテ昨春及本年二月二十日迄ニ比シ百瓦ノ減少

二、役人及勤務者即チ一ノB級ハ一日二百瓦、其家族ハ百瓦ニシテ昨春ニ比シ百五十瓦減、二月以前ニ比シ五割減

ナリ勤務者ハ砂糖ハ一ヶ月約六百瓦ヲ受クルモ肉類ハ殆ント全ク供給ヲ受クルコト思モ及ハス公衆食堂ノ便宜ヲ享受セサルモノハ半飢ノ状態ナリ

自由市場ニ稀ニ出ツル黒「パン」二疋ノ一塊ハ十留ニシテ夫サヘ入手至難、村落農民ニハ手持ノ穀物無ク當市自由市場ニ於ケル穀粉ノ賣買ハ禁セラレ居リ市内唯一ノ穀粉販賣所タル「トルグシン」ハ外貨及貴

BT

BT

記

金屬ヲ以テ販賣スルヲ以テ婚約指環其他ノ最後ノ貴金屬ヲ以テ少許ノ穀粉ヲ買ヒツ、アル有様ナリ
附近村落ニ於テハ昨年ノ不作ニ依リ收穫少ナク少シク遠隔ノ地ニ在リテハ農民カ收穫ヲ欲セスシテ其儘畑中ニ取殘サレタルモノアリ孰レモ穀物ノ貯藏皆無、供給官憲ハ昨秋買上ニ從ヒ出來得ル限り輸出シ盡シ貯藏品少ナク食糧ノ前途益々暗澹タリ
右報告申進ス

本信寫送付先

在露大使

BII

公第三九號

昭和七年四月二十二日

在オデッサ

領事 田中文

外務大臣 芳澤謙吉 殿

外國領事館ニ對スル日用品供給ニ關スル件

當地ニ於ケル外國領事館員ニ對スル日用必需品ノ配給ニ關シ一昨年九月迄ハ領事館員共「パン」ハ一般市民同様ニ勤務者トシテノ定量ヲ所定ノ最寄「パン」販賣所ニ於テ、肉及魚ハ一定ノ配給所ニ於テ購入シ

其他ノ物品ハ必要ノ都度外務交渉部又ハ對外國人便宜供與係ニ書面ヲ以テ特別交付方申入レ居リタル處一昨年九月ヨリ領事官及館長ニ對シテハ通帳ヲ交付シ之ニ依リ「パン」肉以外ノ物品ヲ供給シ來レルカ本年二月以來物資ノ缺乏甚ダシク之カ入手頗ル困難トナレルヲ以テ領事團會議ヲ開キ其結果首席領事ヨリ外務交渉員ニ對シ別紙寫ノ通り日用品必需品供給改善方要望セル處外國人供給所（*Unidad*）ヲ四月十三日ヨリ開設シ外國領事館員及雇外國専門家其他外國人ノミニ對シ「パン」肉其他綿布ニ至ル迄ノ日用品ヲ販賣スルコト、ナレリ
右供給所ノ物品賣價ハ大體ハ從來通りノ特別配給所値段ト同様ナルモ一部ハ市立普通商店（*Supermarket*）同様ニ引上ケタルモノモアリ何レニシテモ從來ニ比シ多少便利トナリタリ

右報告申進ス

本信寫送付先

在露大使

浦潮及ハバロフスク總領事

ノウオシビルスク及ブラゴウエシチエンスク領事

B11

E-0112

0051

время стало значительно труднее, напр., что касается рыбы, картошки, овощей, лука, масла, папирос. Даже на базаре, где теперь фунт масла стоит 15 руб., фунт картошки 50 коп., иногда не имеется никаких продуктов.

3. О снабжении топливом часто приходится несколько раз просить, причем доставка идет очень медленно. Иногда отпускают меньше затребованного количества, иногда дают топливо очень скверного качества.

4. Предметы для домашнего хозяйства часто трудно найти, даже при любезном содействии Отдела для Снабжения Иностранных Представительств. Например: электрические лампочки, свечи, метлы, напатырь, стекло. Отсутствие свечей ввиду регулярного выключения электрического света в течение нескольких часов ежедневно особенно чувствительно.

5. Кроме Торгсина сейчас никакой возможности нет купить одежду или белье.

6. Разные предметы получаются в разных местах, напр. мясо, рыба, картошка, топливо, мука.

B11

Надо посылать иногда по несколько раз и долго ждать, так, что служащие Консульств нагружены заботами по получению самого необходимого.

Как Вы имели любезность мне уже сообщить, намереваются открыть специальный магазин для снабжения здешних Консульств. По мнению Консульского Корпуса открытие такого магазина по примеру существующих магазинов в Москве, Ленинграде, и Харькове было бы наилучшим решением данного вопроса. За ускорение реализации этого намерения Консульский Корпус в Одессе был бы весьма благодарен.

Примите, многуважаемый г-н Гайльонский, уверение в моем совершенном к Вам почтении и уважении.

Дипломатическому Агенту
Народного Комиссариата
по Иностранным Дела
г-ну Гайльонскому

здесь

B11



Одесса, 20-го Февраля 1932 г.

Многоуважаемый г-н Гайлюнский.

Ссылаясь на наши переговоры от 19-го с.м. честь имею довести до Вашего сведения, что местный Консульский Корпус поручил мне изложить Вам некоторые мнения и желания Консульского Корпуса по вопросу снабжения иностранных Консульств в Одессе.

1. В некоторых случаях представителям Консульств, которые хотели заказать для нужд своих Консульств напр. топливо, дан был ответ: - " Покупайте в Торгсине ". Мы Консулы считаем это неправильным. Иностранные Консульства, которые принимают от здешних учреждений, организаций и граждан червонцы, по нашему мнению должны иметь возможность и покупать здесь червонцами.

2. Снабжение продуктами в последнее

B11

米局

普通第一八五號

普通第一八五號
昭和七年五月二十七日

在浦潮斯德

總領事 山口 爲太

外務大臣 芳澤謙吉 殿

當地方ニ半黒ノ麵麴配給開始ニ關シ報告ノ件

黒麵麴ノ原料缺乏ト北滿產麥粉ノ輸入トニヨリ「ニコリスク」ニ於
テハ四月初旬ヨリ半黒ノ麵麴ノ配給ヲ開始シタル次第ハ四月十九日
附機密第一三四號拙信ヲ以テ報告申進置キタル所最近當地方ニ於テ
モ半黒ノ麵麴ノ配給ヲ開始シタリ

在浦潮日本總領事館

右原因ハ仄聞スル所ニ依レハ豫想セル如ク「ソ」聯邦產黒麵麴原料
缺乏シタルヲ以テ北滿及上海ヨリ輸出シタル麥粉ヲ混シテ製スルニ
至レルカ爲ナリトノコトナリ
因ニ最近迄ニ北滿及上海ヨリ當方面ニ輸入セラレタル小麥及麥粉ハ
既報ノ如ク各約二萬噸ニ達スル所情報ニ依レハ近ク小麥、麥粉約六
萬噸「カナダ」、上海等ヨリ輸入セラルル筈ナル趣ナリ
右御參考爲報告ス

本信寫送付先 在「ソヴィエト」聯邦大使

在「ハバロフスク」總領事代理

在「ハルビン」總領事代理

在浦潮日本總領事館

欧米局

機密公第四二號

昭和七年六月廿日 接受

昭和七年六月四日

在ブラゴウエスチエンスク

領事館事務代理 豊原 幸夫

外務大臣子爵 齋藤實殿

最近駐屯軍隊ノ増加ニ伴フ當市ニ於ケル物資
ノ不足ニ関スル件

五月二日附機密公第キ七號機密ヲ以テ報告セシ通リ
現在當市ニ駐屯スル軍隊兵員ハ昨年滿洲事件發
生前ノ夫レニ比シ殆ト三倍増トノ風説アリ從來ノ兵營
ノミニテハ收容シ能ハスレテ適當ナル民家ヲ徵發シ之ニ宿營

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

セシノ居ル次第ナリ右軍隊増加ノ為只サハ缺乏シ居タル當武
市ノ物資缺乏ハ一層其ノ度ヲ高マルニ至レリ之カ一例ヲ挙クレハ
軍隊関係者以外ノ者ハ一ヶ月來殆ト一片ノ肉タニ口ニシ能
ハサル状態ナリト言フ而シテ強制的ニ價格ヲ決定スル協同
組合ハ別トシテ需要供給ノ原理ニ據リ營業スル市場ニ於
テハ最近其ノ價格著シク昂騰シ且各物資ノ種類ハ益
減少スルニ至レリ例ハ鶏卵昨年十個三留乃至四留ノモノ
カ現在ハ十個十留乃至十五留ニシテ而モ買入ニ當リ機敏
ニ振舞ハサレハ入手シ得ルコト困難ナル状態ナリ試ニ協同組合
ノ店頭ヲ窺フニ空瓶、香水、襟飾、齒磨粉僅ニ飾レルニ
過キタル有様ナリ勞働手帳ヲ有スル勞働者サヘ小麦
粉、石鹼、砂糖、茶、バター配給サルモ牛肉、米等ノ配
給ハ絶タレ居レリ一般ノ物資缺乏ハ前述ノ通ニテ最近

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

軍隊ノ増強ト肉聯シ特ニ目立テテ缺乏ヲ来シタルモノハ馬
用枯草、燕麦ニシテ當館ニ於ラモ之ヲ入手ノ爲館員
ヲ穀物トラスト、種子聯合等ノ各機關ニ供給方ヲ交渉
セシメタルカ言フ左右ニシテ配給ヲ肯セサリシヲ以テ本官ハ當
市外事課長ニ対シ配給方一應申入レタル處「ゼーヤ」川
渡江場ニ張番シ農夫カ市場ニ運搬シ来ルヲ待テ受ケ
買フ以外ニ方法ナレト答ヘタルヲ以テ最後の手段トシテ當
市執行委員會議長ニ嚴談シタル結果漸ク入手ノ運ニ
至リタル事例アリ

本信窮送附先 浦汐總領事 哈府總領事代理

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

既米局
機密公第五一號

昭和七年六月十五日

在オデッサ

領事 田 中 文 一

外務大臣子爵 齋 藤 實 殿

當地生活狀態ニ關スル件

當地食料品殊ニ穀類ノ缺乏ハ益々甚タシク最近ノ生活狀態左ノ如シ
一 五月下旬ノ所謂「ソウエト、パザル」開設許可以來市場ニ於ケル
農村ヨリノ農産食料品ノ出廻稍々多クナリ牛乳ハ五割、玉蜀黍粉約

昭和七年七月四日 接受

二割（一布度約八十留）ノ値下ヲ見タルカ穀物及穀粉ノ缺乏益々甚
タシク是等買入ノ爲當地ヨリ北高架索地方ニ出掛ケルモノ多キモ其
缺乏ヲ緩和シ難ク當市ニ於テハ六月十五日前後ヨリ家庭労働者即チ
僕婢ニ對スル「パン」ノ配給ヲ止メタリ砂糖モ極度ニ缺乏シ労働者
ニ對シ砂糖ノ代リトシテ菓子ヲ給與シツ、アリ他ノ人民ニ對シテハ
此配給ナシ

三 當市大工場タル「マルチ」造船工場及農具工場ニテハ運轉資金缺
乏ノ爲メ前者ハ六月十日季節労働者百六十名及傭人夫四十名ヲ、後
者既ニ三百五十名ヲ解雇シ「マルチ」工場ハ七月一日更ニ二百名ヲ
解雇スル由ナリ其他比較的重要ナラサル工場ニ於テハ今春來度々多
數ノ解雇ヲ行ヒタリ

三 失業者ノ農民ニ對シテハ歸郷農耕ニ從事スルコトヲ強要シ居ルモ農民ハ一時歸郷スルモ農業ノ前途ニ何等希望ヲ囑スルヲ得ス且現今食フヘキ物ナキヲ以テ直ク引還シ來ルモノ及農民ニシテ「パン」買付ノ爲メ都市ニ入ルモノ多シ

當市附近ニ於テ農民ハ缺食ノ爲メ働クヘキ氣力ナク朝間少シク働キ他ハ倒ル、カ如ク打臥シ居ルモノ多キ由ニテ今般本官管内旅行中露國穀倉ト稱セラル、「ウクライナ」ニ於テ三鐵道小驛ニテ農婦ノ旅客ニ向ヒ「パン」ト牛乳トヲ交換セント叫ビ居ルモノヲ聞キタル程ナリ

四 本春來氣候ハ例年ニ比シ寒ク且降雨餘リニ多ク當地方南部冬蒔穀類ニハ差シタル障リナキモ「ウクライナ」中部地味肥沃ナル地方ニ

ハ惡影響ヲ受クヘク春蒔ハ農務部公表ニ依レハ「ウクライナ」ハ七割臺迄播種済ニシテ本官通過ノ鐵道沿線モ七、八割播種済ナリシカ此種發表ハ誇大ナルハ從來ノ事實ニ徴シテ明カニシテ種子ノ無キ奥地ニテハ作付未了ノモノ多カルヘキ見込ナリ而シテ氣候ノ遅レ及降雨ハ發芽ニモ相等影響アリ人民前途ヲ悲觀シツ、アリ唯今後一ヶ月ノ經過如何ヲ待テ作柄ノ大勢ヲ知り得ヘシ尤モ本官ノ望見セル處ニ依レハ北高架索地方ハ「ウクライナ」ヨリハ相當良好ナルモノ、如シ

右報告申進ス

本情寫送付先 在露大使

BII

BII

體ノ店舗ノ商品棚一率ガラ空ノ模様ニシテ、ショウウインドーノ陳列品ヲモ悉ク賣リ盡シタルモノアリ。又先般來當地ヨリ追放セラレタル者ヨリ沒收シタルモノト思ハルル樂器、家具、裝飾品ヲ販賣シ居ル所アル有様ナリ。而シテ、バザールニ於ケル一般物資ノ狀況モ同様ニシテ出廻少々。早朝直ニ品切レトナルコト珍シカス。一般物資ノ缺乏ハ必然的ニ物價ノ暴騰ヲ促シ、一般人ノ生活ヲ極度ニ脅シ居ルヲ以テ右緩和ノ爲當局ハ先般來銳意新聞紙等ヲ以テ、コルホーズ産物ノバザールニ於ケル自由販賣許可セラレタル旨、コルホーズノバザールニ於ケル販賣計畫上資金難ニアルモノニ對シテハ國立銀行ニ於テ短期ノ金融ニ應スル旨等ノ宣傳ニ努メ物資配給ノ圓滑ヲ計リ且食料品特ニ肉類ノ缺乏ヲ緩和スル爲家兎ノ飼育ヲ盛

在浦潮日本總領事館

通商局

普通第一一三號

昭和七年六月十八日

在浦潮斯德

總領事

山口

爲太郎



外務大臣子爵 齋藤實殿

浦潮地方ニ於ケル物資缺乏狀況其ノ他ニ關シ報告ノ件

浦潮地方ニ多數ノ軍隊入込ミタルニモ拘ラス歐露方面ヨリ物資商品等

ノ輸送著減シタル爲當地地方ニ於ケル物資ノ缺乏ハ最近甚シク目立チ

來レリ

當地ノ商業機關タル中央労働者消費組合其ノ他各種企業、機關、

在浦潮日本總領事館

ンニ獎勵シ、特ニ強制的手段ヲ以テスルモ其ノ普及ヲ計ラントスル氣
 勢ヲ示シ居ルカ未タ何等ノ效果ナキカ如シ。
 右ニ關シ當地商船隊備船局次席エゴロフ氏ハ、富饒具キ對シ「
 最近諸外國ヨリ穀物ノ輸入アリ尙續々輸入セラルルコトナリ居ル
 ヲ以テ差當リ、パンノ缺乏ヲ來ス心配ナキモ石油ヲ除ク一般物資
 ノ缺乏ニ閉口シ居レリ。物資ノ缺乏ハ直接勞働者ノ不滿ヲ増長シ
 其ノ能率ヲ低下セシメ企業ノ計畫遂行上大支障ヲ來シ居レリ。政府
 ハ「コルホー」產物ノ市場販賣ヲ許ズ等ノ方法ヲ講シ居ルモ農村
 カ極度ニ疲弊シ居ル今日、右ニヨリ物資缺乏ノ緩和ヲ期待スルハ誤
 レリト云ハサルヲ得ス。斯ル政府ノ政策ハ所謂第二ノ新經濟政策ノ第
 一步ナリト認メラルルモ結局主義規則等ニ拘束セラレテ思ヒ切リタ

在浦潮日本總領事館

ルコトヲナシ得サルヘシ最近黑海ヨリ來航シタル船員等ノ談話ヲ綜
 合スルニ「ウクライナ」ノ狀態モ極東同様甚シク窮乏シ居リ、オデ
 ツサノ物資配給狀況ハ浦潮同様ナリトトテ話シタル趣ナリ。
 右報告ス

本信寫送付先 在「ソヴィエト」聯邦大使

在「ハバロフスク」總領事代理

在「オデツサ」領事

在浦潮日本總領事館

要字二部

海外經濟事情場救濟
昭和七年七月二十五日
第5. 第29

通商局長

文書課長

公 信 案

文書課發送
昭和七年七月廿一日
主 歐米局長
管 第一課長
歐一 普通部
合 一九五五號
受信 黒田大蔵次官
人名 吉野商工次官
件名 浦潮地方三ヶ所物資欠乏状況其他
關報告ノ件
本件ニ關シ今般在浦潮斯徳山口總領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付御參考ノ爲右茲ニ送付ス
（昭和七年六月十八日附在 浦潮斯徳 館來電 第二一三號寫並附屬書）
公 信 案

文書課發送
昭和七年七月廿一日
主 歐米局長
管 第一課長
歐一 普通部
合 一九五五號
受信 黒田大蔵次官
人名 吉野商工次官
件名 浦潮地方三ヶ所物資欠乏状況其他
關報告ノ件
本件ニ關シ今般在浦潮斯徳山口總領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付御參考ノ爲右茲ニ送付ス
（昭和七年六月十八日附在 浦潮斯徳 館來電 第二一三號寫並附屬書）
公 信 案

別紙

（甲號用紙）

要字二部

海外經濟事情場救濟
昭和七年七月二十五日
第5. 第29

通商局長

文書課長

公 信 案

文書課發送
昭和七年六月廿一日
主 歐米局長
管 第一課長
歐一 普通部
合 一九五五號
受信 陸軍省小園事務局長
人名 寺島海軍省事務局長
件名 駐屯軍改ノ増加ニ伴フ 武市
本件ニ關シ今般在「ラウ」に在リヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス
（昭和七年七月廿一日附在武市館來電 第四二號寫並附屬書）
公 信 案

文書課發送
昭和七年六月廿一日
主 歐米局長
管 第一課長
歐一 普通部
合 一九五五號
受信 陸軍省小園事務局長
人名 寺島海軍省事務局長
件名 駐屯軍改ノ増加ニ伴フ 武市
本件ニ關シ今般在「ラウ」に在リヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス
（昭和七年七月廿一日附在武市館來電 第四二號寫並附屬書）
公 信 案

別紙

（甲號用紙）

文書課長  公 信 案

文書課發送 昭和七年七月拾五日 主 歐米局長 管 第一課長 任 第一課長 歐米局長 受信 黒田大佐 石黒農林次官 人名 吉野商工次官	主 歐米局長 管 第一課長 任 第一課長 歐米局長 受信 黒田大佐 石黒農林次官 人名 吉野商工次官	件名 オデッサ地方生活状態ニ関スル件 本件ニ關シ今般在「オデッサ」田中領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付御參考ノ爲右茲ニ送付ス (昭和七年六月十五日附在「オデッサ」領事館來電機第 五 一 號寫並附屬書)	綴 込 名 有田次官 發 信 人 名 有田次官	淨書 正校(原稿) 附屬書 通
--	--	---	----------------------------------	--------------------------

別紙 (甲號用紙)

ナニ

機密公第六八號

昭和七年七月二十日

在ブラゴウエスチエンスク
領事代理 豊原 幸次

外務大臣伯爵内田康哉殿

最近ニ於ケル當地物資缺乏状況ニ関スル件

農村自体ノ生産率ノ低下運輸配給組織ノ不備
怠慢加之最近當地方ニ於ケル軍隊ノ集結ニ起因シ
一般物資食糧品及其ノ他ノ日常生活必需品甚タシキ
不足缺乏ヲ告ケ居ル次第ハ本年六月四日附機密公第
四二號拙信ヲ以テ一應及報告置キタル通ナルカ最近

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

當市當局ニ於テモ他地方ト同様莫斯科ヨリノ指令
ニ基キ「ゴルホーズ」市ヲ催シ一般市民ノ困窮ヲ幾分緩
和セント試ミタルカ當地方各「ゴルホーズ」ヨリ同市場ニ出
シタル農作物ハ豫想外ニ少ク而モ當市ノ機關團體
力之等ノ大半ヲ買付ケ又普通市場ニ於ケルヨリモ幾分
廉價ナリシヲ利用シ一部商人ノ「スペクレーション」的買
占等行ハレ一般市民ノ受ケタル恩惠ハ殆ト無ク第一回
「ゴルホーズ」市ハ只聲ノミニ終リタルカ如シ
而シテ一般日常食糧品ハ依然トシテ缺乏ヲ續ケ例
ハハ普通市場ニ於テ大体青物一束一「フント」六留馬
鈴薯一貫目二十留生臭一尾二十留牛乳一「リットル」三
留ニテ一般住民ハ勿論斯ク如キ高價ナル食糧品
ヲ買フニ術無ク主トシテ手帳ニ依リ購買シ得ル極

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

メテ制限セラレタルモノヲ以テ僅ニ露命ヲ繋キ居ルニ
過キサル有様ナリト言フモ全ク過言ニ非ス斯クノ如キ
状態ニシテ永續センカ民心並ニ其ノ保健上ニ及ホス影
響ハ極メテ大ナルモノアリト觀測セラル又食糧品以外
ノ日常必需品及一般材料ニ付キテ言フモ亦同様ニ
シテ例ハ當館カ國旗掲揚ニ使用スル麻繩ヲ約
一ヶ月前市執行委員會ヲ通シテ當該同業組合ニ
注文シタルニ今以テ入手シ得サル次第ナリ加之右同業
組合本部責任者ハ本官ト面談ノ際書翰用紙ノ缺
乏ヲ訴ヘ入手方法無キ爲當館準備品ヲ融通スルカ
又ハ當館ノ手ヲ經テ購入方懇願セル事例アリ又電
話局及電信局ノ如キ國家機關ニ於テモ紙ノ缺乏
甚タシキモノノ如ク斯ル機關ニ宛テタル當館ヨリノ

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

公信ニ対スル回答ハ殆ト當方ヨリ發送シタル書面ノ
裏ニ認メ且古新聞紙ヲ以テ作リタル封筒様ノモノニ
之ヲ封入シテ回送スルヲ常トシ外國代表館ニ対スル
體裁儀禮ナト考慮スル態ハサル程紙ノ缺乏ヲ感シ
居ルモノト思料セラル
右最近ニ於ケル當地ノ物資其ノ他一般必需品ノ缺
乏状態ニ付實例ヲ挙ケ何等御参考迄ニ報告申
進ス

在ブラゴウエスチエンスク日本領事館

通商局

在
トエィ邦聯本日帝國大使館

公第三〇〇號

昭和七年八月六日

歌米局

第一號

記録件

昭和七年八月廿五日

ニ
ニ

B
C

在ソヴィエト聯邦
特命全權大使廣田弘毅



外務大臣伯爵内田康哉殿

調書「物資欠乏」將來ニ関スル再吟味送附件
當館尾形書記官ノ作成ニ係ル本件調書向等也
参考送ニ在、通送付ス

在
トエィ邦聯本日帝國大使館

内容梗概

- 一、物資欠乏ノ現状
- 二、物資欠乏ノ絶對的原因ノ再吟味
- 三、物資欠乏ノ相對的原因ノ再吟味
- 四、物資欠乏ノ將來
- 五、物資欠乏ノ將來考察ニ関シ注意スヘキ諸点
- 六、物資欠乏ノ影響

一、當國ニ於ケル物資欠乏ノ状態、原因及其ノ將來ニ
スル考察ニ付テハ昭和六年七月七日附公第三〇一號秘信
(ソ聯邦ニ於ケル物資欠乏ノ將來及其ノ影響ニ関スル
一考察)ヲ以テ詳細報告ノ通ナル處、今現時ノ實情
ニ付テ見ルニ從來ニ比シテ左ニ著シキ改善ノ跡ナク却
テ生活必需品中白糖ニ付テハ從來ニ比シ其ノ
配給量更ニ減少シ現時ハ寧ロ此ノ莫ニ於テ從來
ニ對シ特異性ヲ示セル有様ナリ尤モ若ハ昨年度收
獲不成績ノ外或ル程度ニ於テ新收穫期直前ノ在
庫品ノ減少又ハ軍事的理由ニモ基因スルモノナルハ
キモ之ヲ要スルニ當國ニ於ケル物資欠乏ノ現状ハ
今尚依然相當深刻ナル有様ナリ
二、曩ニ物資欠乏ノ將來ヲ考察スルニ當リハ絶對

一九三二年七月

物資缺乏ノ將來ニ関スル再吟味

約原因(生産上ノ障害ノ原因)トシテ、(1)ホルホーダ化ノ
 張行、(2)個人企業ノ模倣乃至圧迫、(3)重工業ノ過重
 (輕工業ノ輕視)コソ、(4)相對的原因(物資ノ國內
 出廻上ノ障害タル原因)トシテ、(5)輸出ノ張行(主タル相
 對原因)、(6)運輸ノ不完全、(7)配給組織ノ不完全及個
 人ノ買溜及(8)官僚主義ヲ模倣セルガ、今物資欠乏
 ノ今後ヲ考察スルニ當リ、其ノ後、各種ノ新ナル事態ニ
 即シテ諸原因ニ付在ニ丹吟味ヲ加フヘシ
 先ニ第一ニ物資欠乏ノ絶對的原因即チ物資ノ生
 産上ノ障害タル原因ニ付見ルニ在、如シ
 (1)ホルホーダ化ノ張行
 此ノ點ニ關シ吾人ハ、曩ニホルホーダ化第二次張行時
 代(一九三〇—三一年)ハ第一次張行時(一九二九—三〇

年)ニ比シホルホーダ内ノ労働ニ本來高主義ヲ採用
 スルニ至レルコト等ノ點ニ於テ第二次張行時代ハ第
 一次張行時代ニ於ケルヨリ比較的ニ農産物ト曰ハス
 ルノ可能性ヲ有スルニ至レルトナセルカ、此ノ時代ト現
 時トヲ比較スルニ其ノ後或ハ(1)ホルホーダ化ヲ終止乃至
 緩和シ或ハ(2)ホルホーダ内ノ労働ニ部隊制度ヲ採
 用シ或ハ(3)家畜等ノ強制的公共化ヲ禁止シ或ハ
 (4)ホルホーダ員及個人農農産物自由販賣ヲ許各
 シ或ハ(5)革命的合法ヲ張調シテ農民ノ彈圧ヲ緩
 和スル(追放ヲ解カレ歸郷シ又ハ没収家屋ノ返還ヲ
 受クル者現ハルニ至レルト謂フ)等、ホルホーダ化張行
 ニ著シク個人主義的傾向ヲ加ヘ且ホルホーダ化張行
 ニ伴フ農民彈圧ヲ緩和スルニ至レル巨ニ於テ現時ハ

從來ニ此ニ更ニ一層右ノ可能性ヲ増大スルニ至レリト謂フコトヲ得

尚右ニ関軒シ農産品上ノ補助的ノ手段トシテ内ノ欠乏ヲ償フ爲ニ一般ノ家兎ノ養育ヲ獎勵シ又各工場ニ對シ自己ノ所屬ノ農園ヲ経営セシムル運動行ハレ居ルニトハ現時ノ新ナル現象ノ一トシテ附記スル所アルヘシ

二個人企業ノ撲滅乃至圧迫

此ノ莫ニ関シ最モ吾人ハ從來ニ比較シ此ノ時代ノ異ナル点トシテ一九三一年五月三十一日附ノ手工藝業者ノ租稅輕減ニ関スル決定ヲ舉ゲ其ノ效果ニ付右ハ從來ニ比シ物資欠乏ノ原因ヲ相當緩和スルノ可能性ヲ與ヘ得ヘキモノトナルカ更ニ右ノ外當時ニ比較シ現時ノ異ナル莫ハ個人ノ自由ノ範圍更ニ擴大セラ

レタルコトニ存ス即チ右ハ本年五月從來禁止セラレ居タル農民殊ニコルホノ負ノ農産物自由販賣ヲ許容セルコト之ニシテ此ノ莫ニ付テハ當時詳細報告ノ通ナル處右ハ物資欠乏ノ原因ノ一トシテ個人企業ノ撲滅乃至圧迫ヲ從來ニ比シ更ニ一層緩和スルモノト謂フコトヲ得

三) 重工業ノ過重(輕工業ノ輕視)

此ノ莫ニ関シ最モ吾人ハソヴィエト政權カ從來ニ比較シ此ノ時代ニ於テハ輕工業ヲ漸次重視シ其ノ發達ニ力ヲ注クニ至レルコトヲ指摘シ從テ輕工業ニ付テモ亦之ヲ從來ニ比較セハ莫ノ發達ニ付テ多クノ可能性ヲ有スルニ至レリトナルカ其ノ後ハ狀態ヲ見ルニ此ノ莫ニ努力スルハ勿論殊ニ農民ノ農産物自由

販賣ヲ許容シ他方又農産物買附期宜ク又更ニ一般の消費物ノ生産向上ノ必要ヲ感シ國營輕工業ノ生産向上ノ必要ヲ強調スルト共ニ一新ナル方法ヲ講スルニ至レリ新ナル方法トハ本年七月二十三日附解部中執行委員會及人民委員會議ノ決定ニ基キ産業組合ノ改造即チ之ニシテ今同決定ノ内容ヲ見ルニ其ノ産業組合改造ノ重点ハ之ヲ要スルニ同組合ニ對シハ生産ニ必要ナル原料ヲ自由市場ニ於テ自由ニ購入シ而シテ同原料ニ依リ生産セル物ヲ市場價格ニテ市場ニ於テ自由ニ販賣スルノ權利ヲ賦與スルコトニ存シ而シテ右ニ依リ同組合ノ一般の消費物ノ生産ヲ最大限ニ助長シ(前又)セトスニアル處右ハ所謂商業主義(又ハ換算主義)ヲ更ニ

徹底セルモノニシテ謂ハバ資本主義的經營ト選フ所ナキモノニシテ從テ之ヲ從來ニ比較セハ其ノ生産向上ノ可能性ハ殊ニ農産物自由販賣ノ許容セラレ居ル今日ニ於テハ相当増大セラレニ至ルヘキモノト看做スヲ得果シテ然ラハ輕工業生産ハ一般の現時ハ從來ニ比シ其ノ向上ニ付更ニ一層可能性ヲ有スルニ至レリト謂フコトヲ得尙輕工業ニ関シテモスターリンノ企業經營ニ関スル所謂「大方針」適用セラレ居ルコトハ注意ノ要アルヘン以上ニレ物資欠乏ノ絶對的原因ノ再吟味ノ必要ナルカ吾人ハ曩ニ此ノ點ニ關スル考察ニ於テ物資欠乏ノ絶對的原因ハ一般の從來ニ比シ緩和セラルノ可能性ヲ有ストナセルカ右ニ依リ見ハ吾人ハ現時ハ當時ニ比シ全般

三次ニ第二ニ物資缺乏ノ相對的原因即チ物資ノ國內出廻リノ障害タル原因ニ付テ見ルニ吾人ハ曩ニ此ノ實ニ因スル考察ニ於テハ主タル相對的原因タル輸出ノ強行ニ付テハ緩和ノ見込ナシトシテ從タル相對的原因タル運輸ノ不完全、配給組織ノ不完全及個人ノ買渡及ハ官僚主義ニ付テハ多ク緩和ノ見込アリトヤシタルカ右ニ関シテハ現時ニ於テモ多ク異ナル所ナク只タニ三時言スヘントセハハハ輸出ノ強行ニ付テハ配給組織ノ不完全及個人ノ買渡ニ實ニ付テナルカ其ノ前者ノ點ニ付テハソヴエト政權カ近時重工業多數部門ノ獨立從テ同部門ノ輸入ノ必要ヲ説ケル故ニ輸出強行カ既ニ緩和セラルルニ至レル如キモ只僅ニ昨年度以來外國信用額ノミヲ見ルモ右ヲ以テ直ニ從來ノ輸出強行ヨリ直ニ緩和

和シ得ヘキモノトナスヲ得ヌ近時唱導セララル、最モ限度ノ必要ヲ輸入ノ標語ノ如キモ寧ロ却テソ聯邦國際貸借ノ苦境ヲ物語ルモノニ外ナラスシテ從テ輸出強行ニ付テハ結局現時ニ於テモ從來ニ於ケルト等シク緩和ノ見込ナシトナスヲ得ルニ當キス從テ物資缺乏ノ相對的原因中特ニ從來ト異ルモノトシテ舉ゲ得ヘキハ結局後者ノ實即チ配給組織ノ不完全及個人ノ買渡ニ因スルモノニシテ今其ノ從來ト異ナル主ナル實ヲ舉ケレハ大要左ノ如シ

此ノ實ニ関シ吾人ハ曩ニハ閉鎖配給制度ノ樹立、商業商店ノ切符ヲ要セラルモ高キ價格ニテ販賣スル店ノ開設及ハ消費組合ノ改造等ヲ舉ゲ、從來ニ比シテ配給組織改善セラレ来ルニシト及從テ

個人ノ買留ノ余地狭クナルニ至リ物資ノ國滿流通ノ可能性増大スルニ至レルコトヲ指摘セルヲ右ニ関シ其ノ後附加スヘキ新ナル事實トシテ舉グヘキハ(1)配給網ノ擴張ニ努カシ例ヘハ或ハ輕工業人民委員部ハ一九三二年一月乃至三月中旬ニ百五十二ノ商店ヲ開設スルコトシ(三月十五日イダラエヌヤ)或ハ聯邦供給人民委員部ハ一九三二年中ニ四千七百ノ商店及賣店ヲ開設スルコトシ(三月十五日ワラフヤ)或ハ各地又ハ都市ノ消費機關モ亦此ノ方面ニ力ヲ注クニ至レルコト(2)所謂賄工場ノ數増加シ多物労働者及勤務員ヲ給養スルヲ得ルニ至レルコト(五月六日ワラフヤ)但シ莫斯科市(莫ス)ハ職業組合ヲシテ物資配給ノ改善ニ積極的ニ参加セシムルニ至レルコト(昭和七年)

五月十九日附公第一八七號第九回全ソ聯邦職業組合大會ニ於テ爾等調書参照)カハ農民、農産物自由販賣許容ニ依リ所謂「ソルホ」ノ商店ノ開設ヲ説セラレタルコト等ナル處右ハ向レモ從來ニ比シ物資ノ國滿流通ノ可能性ヲ更ニ増大シ得ヘキモノトナスコトヲ得ヘン

尚右ノ外物資配給ノ改善ヲ直接的目的トセサルモソルケレン即チ外貨又ハ金留ニ依リ販賣スル商店ノ開設ハ其ノ網ノ全ソ聯邦ニ亘レルト比較的豊富ニ物資ヲ有セルトニ鑑ミ間接的ニハ物資配給ノ改善上ニ相當大ナル役割ヲ演シ居レルニトハ意見スルノ要アルヘク又近時工場ヨリテ國家ノ配給ヲ俟タス工場自ラ食料品ヲ自給(買入)スルコトヲ獎勵スルニ至レルコト又從來見サリ新事

實ナルが右ハ農民ノ農産物自由販賣ノ許容ト相俟
テ物資配給ノ改善ニ貢獻スル所ナルヘシ
次ニ個人ノ買留從テ其ノ投機ニ付テハ農民ノ農産
物自由販賣許容ノ結果此ノ方面ニ於テハ從來ニ比シ
寧ロ相為益ニ行ハルニ至ルヘキモ此ノ點ニ關シテハ由來其
ノ農民ノ販賣價格ヲ市場價格ナル以上右ハ必スモノ物
資流通上左ニ甚クシキ障害ノ原因タルヘキモノト謂
ヒ難ク而シテ他方國富關係ニ於ケル個人ノ投機ニ對シ
テハ政府ハ特ニ嚴重ナル取締ヲ行フニ至リ最近ハ
莫斯科國店商業機關ノ職員五名ヲ投機ノ廉ヲ
以テ銃殺ノ刑ニ處シタル程ナリ尤モ右ノ事實ハ其ノ率
面ニ於テ國富商業關係ニ於ケル投機相為益ナル
コトヲ物語ルモノナルモトハ否ムヘカラス

以上之レ物資欠乏ノ相對的原因ノ再吟味ノ大要ナルカ之
ニ依リ見ルニ物資欠乏ノ相對的原因ノ現状ハ之ヲ要ス
ルニ物資ノ國內出廻上ノ根本的障害ハ從來ニ於ケルト
等シク依然緩和ノ見入サザル但シ其ノ從タル障害ハ從
來ニ比シ相為緩和セルルヘキ可能性ヲ増大スルニ至レリ
トテスコトヲ得ヘシ
四以上之レ物資欠乏ノ絕對的原因ト相對的原因ノ現状
ノ再吟味ノ大要ナルカ今其ノ從來トノ差異ヲ要約スルニ
一吾人ハ先ツ第一ニ物資欠乏ナル事態ノ將來ヲ決定
スヘキ諸原因ノ相互關係又ハ相互作用ハ畧ホ從來
ト同一ナルコトヲ認メサルヘカラス尙トナレハ以上ニ於テハ
ナル如クハ現時依然緩和ノ可能性ナキ原因(主
タル相對的原因)トハ現時緩和ノ可能性ヲ示セル

原因トハ各々從來ト今日ト同一ナルカ故ナリ
 (二)然レトモ第二ニ從來緩和ノ可能性ヲ示セルモノ多ク
 ハ現時ハ更ニ其ノ可能性ヲ増大セムトヲ望ムサルヘカ
 ラス例トナレハ等シク以上ニテ明カナル如クハ絶対的
 原因ニ付テハ從來ニ比シ全般的ニ更ニ緩和セラルル
 ノ可能性アリ而シテハ相對的原因ノ從タルモノモ
 亦更ニ相當緩和セラルヘキ可能性ヲ増大シ居レ
 ルカ故ナリ
 華果シテ然リトセハ吾人ハ最モ右諸原因ノ當時ノ考察
 ニ於テ物資欠乏ナル事態ノ將來ニ関シ
 (一)現時ニ比シ比較的ニ緩和セラルヘキ可能性アリ(絶対
 的原因ノ緩和)
 (四)尤モ社會主義ノ理想ノ急激ナル實現(五年計劃)

上ノ主要ノ爲ニ右ノ緩和ハ絶対的ニテラス(主タル相對
 的原因ノ不緩和)然レトモ
 (一)若シ此ノ爲ニ物資ノ國內生産ニシテ依然著シク判
 限ヲ受ケル場合ニ於テモ其ノ流通ハ從來ニ比シ比較
 的ノ円満タルヲ得(從來相對的原因ノ緩和)
 トナセルカ現時ト當時ト右諸原因ノ比較考察ニシテ前
 述ノ如クハ吾人ハ此處ニ物資欠乏ナル事態ノ今後ニ
 付
 (一)先ッ第一段ニ於テハ現時ト當時ト右諸原因ノ相互
 係又ハ相互作用ニシテ右ノ如ク畧々同一ナルニ鑑ミ現
 時ニ於テモ亦右ト畧々同一ノ結論ヲ下ササルヘカラス
 (二)然レトモ第二段ニ於テハ從來緩和ノ可能性ヲ示セルモノ
 ハ右ノ如ク現時多ク殊ニ其ノ絶対的原因緩和ニ

於テ更ニ其ノ可能性ヲ増加セルカ故ニ右ノ意味ニ於
ケル將來ノ物資欠乏ナル事態改善ノ程度ハ現時
ニ於テハ過當ナル此レヨリ向上セラルヘキ可能性ヲ有ス
ルニ至レリ
トナササルヘカサルヘン
五、滿國ニ於ケル物資欠乏ノ現状カ尙儼然在リテ著シキ
改善ノ跡ナキトハ冒頭記述ノ旨ナルカ今右ノ現実的事
實ヨリ過當ニ於ケル物資欠乏ノ將來ニ関スル前記ノ考察ニ
對シ更ニ附加注意スヘキハ抑々前記諸原因ノ根本ハ尙
レモ或ハ明白解明ノ重ントスル制度或ハ政策又ハ其ノ結果
ニ基クモノニテ從テ其ノ由來スル遠キモノアリ中ニ就キ
其ノ農村ノ社會主義化ノ物資欠乏ニ及ボセシ影響ノ
大ナルコトハ正政權カ其ノ後其ノ後多ク放棄策ニモ

拘ラス今日ニ及ンテ其ノ苦狀ヲ嘗メ居レル如キ(昭和七年
七月二十四日附公第ニ七六号本年度農産ニ関スル件
参照)即チ早急ニハ之カ緩和乃至除去ヲ期スルコ
ト困難ナルコトナリ之レ即チ吾人カ最ニ當時ノ十分
イニテ政權ノ對策ヨリ推シテ物資欠乏ナル事態ノ
將來ノ比較的緩和ノ可能性ヲ指摘シタルモ来々年
余ノ今日ニ於テ此ノ真ニ関シ特記スヘキ事實ヲ擧グル
ヲ得サル所以ナルカ甚シ果シテ然リトセハ吾人ハ前記
諸原因ノ再吟味ヲ中ハトスル滿國ニ於ケル物資欠乏
ナル事態ノ將來ニ関シ
ハ物資欠乏ナル事態改善ノ可能性ハ現時ハ從來
ニ比シ更ニ増加セラレタリ
ハ然レトモ現實的ニハ其ノ效果ハ尙ク遠ニハ現ハレサル

へし

ト附言スルニ要アルヘシ

以テハ、~~ソ連~~ 諸國ニ於ケル物資缺乏ナル事能ノ將來ニ関スル大體ノ考察ナルカ若シ、~~其ノ~~ 將來ニシテ如キハ、ソ連トモハ吾人ハ此處ニ於テ左ノ二ツニ付注意シ置クニ要アルヘシ、即チ第一ニ物資缺乏ナル事能ノ現状ハ尙依然相湯深刻ナルモノアリ然レトモ吾人ハ之ヲ以テ直ニソヴィエト政權ノ此ノ改善ニ関スル將來ノ無力ヲ意味スルモノトナヌヲ得サルコトナリ、何トモハ現時ハ更ニ從來ニ比シ其改善ノ可能性ヲ増加シ居ルカ故ナリ、從テ惟ニ若シ吾人ニシテ現時ノ其ノ要シキ半面ノミヲ注重シテ此ノ可能性換言スレハ其ノ將來ノ方向ヲ看過セハ偏見ノ排ヲ逸カレスト謂ハサルヘカラスヘシ然レトモ又

他方第二ニ吾人ハ右ノ可能性ヲ余リニ過大ニ評價スルヲ得サルコトナリ、何トモハ物資缺乏ノ由テ來ル~~財源~~ 且又其ノ今尙相湯深刻ナル早急ニ之ヲ改善セヨヲ許サルカ故ナリ、若シ夫レ之ヲ五年計劃実行以前ノ昔ニ返ヘサントセハ共産党カ第二次五年計劃(五三—五七年)作成ニ関スル命令中ニ於テ同計劃ニ於テ初メテ食料品ト一般消費物トヲ現在ノ二倍乃至三倍タラシムヘントイン居ルニ見テ之ヲ窺ハルニ如ク、今後尙多クノ経済ト年月トヲ要トスト謂ハサルヘカラスヘシ然レリ、而シテ~~レ~~ 前記物資缺乏ノ將來ニ関スル考察ノ結果トシテ又其ノ基礎ノトニ於テ附言シ置クヲ要スヘキ重大ナル二ツニ在ナリ

六、物資缺乏ナル事態ノソヴィエト政權ニ及ボスヘキ

政治的影響及經濟的影響ニ付テ、頭記、信件、
ニ於テ詳細述入置タルカ、今日右ニ因ニ特ニ附言ス。
ヘキモノナシ。(七月二十八日)

E1.1.0.5-1

機密公第三三號

昭和七年十月二十五日

在武市

領事代理 豊原 幸夫



外務大臣伯爵 内田 康哉 殿

當地方ニ於テ開催セラレタル最初ノ大規模

「コルホーズ、ヤルマルカ」ノ狀況ニ關スル件

當地方一帯ニ於ケル食糧其ノ他生活必需品ノ缺乏ハ本年夏季農作
期ニ於ケル降雨續キノ爲益々其ノ深刻ノ度ヲ強メ曩ニ七月二十日
附機密公第六八號拙信ヲ以テ報告申進シ置キタル「コルホーズ」

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

市モ豫期ノ成果ヲ得ルニ至ラス又最近國家ハ「パン」手帳ヲモ廢
止セントスルヤノ風説行ハレ一般市民不安不滿ノ聲ハ益々甚タシ
クナリ來レル折柄當地方當局ニ於テハ「コルホーズ」市及此ノ種
商業ノ不振ハ關係者ノ熱意及注意ノ缺除ニ起因スルモノトナシ武
市ヲ中心トスル近隣數分管區ニ散在スル「コルホーズ」ヨリ其ノ
種類ヲ食糧品ニ限ラス毛皮手工品ニ至ル迄大量大規模ニ集中シ以
テ其ノ價格ヲ引下クルト同時ニ市各企業機關ニ對シテノミナラス
一般市民ニモ其ノ恩惠ニ均霑セシメ一方市側ニ於テハ各企業ヲシ
テ所謂「フストレチナヤ、トルゴブリヤ」ヲ組織セシメ以テ農民
ニ工業生産品及日常消耗品ヲ供給スルト共ニ彼等ニ「コルホーズ」
市ノ有利ナルコトヲ知ラシメントスル企圖ヲ以テ武市ニ當地方

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

最初ノ大市（ヤルマルカ）ヲ開催セリ
右「ヤルマルカ」ハ本月十日ニ始マリ十四日ニ終リタルカ前後五日間ノ實績ニ付キ「ヤルマルカ」委員會ノ發表セル數字ニ依リテ觀ルニ先ツ「コルホーズ」側ヨリハ集合セル參加「コルホーズ」數約八十四販賣品ヲ運搬シ來レル荷馬車二千三百五十四台賣上高七十二萬二千百留此ノ他馬用乾草賣上高三萬三千六百留ニシテ其ノ品目ハ主トシテ馬鈴薯、苺、玉葱等ノ農作物ノ他牛豚家鶏肉類乳製品ナリ而シテ其ノ價格ハ普通市ニ於ケルヨリモ一般的ニ多少低下シ居レルカ如ク例ヘハ右委員會ノ數字ニ依レハ家鶏一羽普通値段十乃至十二留（實際ニ於テハ一定セル値段ナシ）ナルモノ同市ニ於テハ六乃至七留「バター」一「キログラム」普通値段段三十五

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

乃至三十七留（實際ニ於テハ入手困難ナリ）ハ市値段段二十五乃至三十五留ナリシ趣ナリ
次ニ都市側ニ付キテ觀ルニ各種企業ノ工業製品及一般生産品賣上總高百二十九萬二千四百留其ノ品目ハ主トシテ衣類布地帽子靴外至其ノ他ニシテ工業製品ニ比シ日常消耗品ハ甚タ僅少ナリシト言フ
而シテ右「ヤルマルカ」カ果シテ都市々民ノ食糧難ヲ如何ナル程度迄緩和シ又農民ニ對シテハ農村生活ニ於ケル窮乏ヲ如何ナル程度迄満足シ所期ノ目的ヲ達成シタルヤ否ヤハ右委員會及當地新聞紙ノ發表セル杜撰ナル材料ヲ以テシテハ之ヲ明カニスルコト困難ナルモ「ヤルマルカ」開始第一日目ニ於テ「コルホーズ」ノ賣上

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

高三十五萬四百留即チ前記總高ノ五割弱ヲ初日ニ於テ賣上ケ初日
半ヨリ既ニ價格ノ低落ヲ示セル點ヨリ觀ルニ市民ハ充分此ノ「ヤ
ルマルカ」ノ恩惠ヲ受ケタルカ如キモ事實ヲ考察スルトキハ然ラ
スシテ市民購賣力ノ不足及永續性ヲ缺ケルニ因ルモノナルヘク一
方農民側ヨリ之ヲ觀ルニ諸企業總賣上高ハ農民ノ夫レニ對シ實ニ
十七割ニ相當シ即チ農民ハ其ノ賣上金ノ殆ント全部ヲ以テ都市生
産品ヲ購買セルモノト觀ルヲ得ヘク之ニ依リ農民ハ多少ノ窮乏ヲ
緩和セラレタリト推察シ得ルモ都市生産品殊ニ消耗品ノ量少ク主
トシテ工業製品ハ農産物ニ比シ著シク高價ニシテ又其ノ價格一定
セルヲ以テ彼等ノ受ケタル純利ハ其ノ金額ニ比シ遙ニ少キモノト
觀ルヲ得ヘシ

在ブラゴウエスチエックス日本領事館

要之斯クノ如キ大市ハ一時的ニハ都市農村ノ深刻ナル物資缺乏及
之ニ伴フ不安現狀ノ聲ヲ幾分緩和シ得ルコトハ明カナレトモ之
ヲシテ組織的永續的ニ行フニ非サレハ其ノ實績ヲ期待スルコト困
難ナルカ如シ

右何等御參考迄

在ブラゴウエスチエックス日本領事館

分類 1.1.0.5

人事課長

秘書

件名

人事課長

(昭和七年十一月七日附在露大使宛本官發公領電書機第 二九 號寫附屬書寫)

御參考ノ爲別紙送付ス

外國公館員ニ對スル日用品供給ニ關スル件

外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

領事 田 中 文 一



昭和七年十一月七日

米局

機密公

第九七號

第一課

在オデッサ

紙添付

久松義久 氏宛に送付

公領機密第二九號

昭和七年十一月七日

在オデッサ

領事 田 中 文 一 郎

在「ソウエト」聯邦

臨時代理大使 天 羽 英 二 殿

外國公館員ニ對スル日用品供給ニ關スル件

從來當地ニ於ケル外國領事館員及使用人ハ當地外務交渉部ノ斡旋ニ依リ本年四月以來當地在住ノ外國人技師及勞働者ノ爲ニ特設セラレタル

對外國人供給所「インスナブ」ニ於テ日用必需品ヲ紙幣留ニテ購買シ

來レル處十一月三日同供給所支配人ヨリ同日以後同供給所ハ各領事館

トノ取引關係ヲ絶ツコト、ナリタルニ付テハ爾後「トルグシン」ニテ

金留建（當日ノ爲替相場ニ依リ外國貨幣ニ換算ノ上外國貨ニテ支拂フ

）ニテ購入アリ度シト口頭ニテ申入レアリタルヲ以テ當地外務交渉部

ニ對シ右事實ヲ確メタル處右ハ中央ヨリ直接「インスナブ」ニ指令ア

リタルモノナレハ外務交渉部トシテハ如何トモ致難キニ付先方申出ノ

通り取計ハレ度シト回答セリ

依テ小官ハ本件ニ關シ當地各領事共談合セルカ此ノ際先方ノ申入ヲ默

認スルノ外無シト云フニ意見一致シタリ

就テハ右様取計ヒ差支無キヤ又今後ノ對策等ニ付貴見承リ度右申進ス

BII

BI

本信寫送付先 外務大臣

BII

E-0112

0002

寫送先

大臣 次官 電信課長
亞細亞 通商 條約 文化 人事 會計
歐米 米 報 事 化 報 事 計

分類 E1.1.0.5-1)

昭和7 二四九六八 暗 浦潮 本省 十一月十四日後着 歐一
内田外務大臣
第二〇三號
本官發莫斯科宛電報
第一三九號
貴官發「ノボシビルスク」宛電報第二二號ニ關シ
十三日以來當地「インスナブ」モ今後「トルグシン」ニ於テ購入セ
ラレタシトテ當館員ニ對シ物資ノ配給ヲ拒否セリ
大臣へ轉電セリ

外貨ニテ物資贈下

山口總領事

於此會場口外

外務省



電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和7 二六〇一四 暗

武市 本省

廿七日前發 十一月廿八日後着

歐、會

内田外務大臣

豐原領事代理

第八一號

從來在當地各國領事館ニ對スル物資ノ配給ハ哈府ニ本部ヲ置ク極東
小賣商業「ダリゴルト」支部ニ於テ之ヲ爲シ居タル處昨廿六日當館
館員カ同部主任ニ面會セル際主任ハ館員ニ對シ何レ哈府ヨリ貴館ニ
對シ公式ノ通知アルヘキ筈ナルモ同店ハ中央ヨリノ指令ニ依リ領事
館ニ對スル配給ハ一切之ヲ爲ササルコトト爲レリ爾後「トルグシン
(外國人向商店)ニ於テ必要ノ物資ヲ調達セラレ度シト語レル趣ナ
リ

外務省

本件ニ關シテハ莫斯科竝ニ「ノヴォシビルスク」發開下宛電報ニ依
リ早晚當地ニ於テモ右實施セラルヘキハ本官ノ豫期シ居タル次第ナ
ルモ從來當館ニ於テハ他ニ適當ナル店又ハ市場等無キ爲一般食料品
ノミナラス其他ノ物資例ヘハ館馬ノ糞抹雜品類ニ至ル迄公私トモ殆
ト同店關係ノ販賣所ニ於テ調達セサルヘカラサリシ關係上今回ノ配
給制度ノ變更ト共ニ本官ノミナラス館員共ニ日常生活ニ大ナル苦痛
ヲ感スヘキハ勿論當館經理上ニ於テモ多大ノ影響(アリ)「トルグ
シン」ニ於テハ從來外國領事竝ニ館員ニ對シテハ特ニ普通値段ヨリ
モ約三(割?)ノ割引ヲ爲シ居タルモ本日限り右割引制度ヲ廢止スル
コトニ決定シタル趣ナリ因ニ最近ニ於ケル同店ノ圓相場ハ平均一圓
ニ對シ三十八「コベツク」ノ割合ナリ

外務省

E-0112

電信課長

大臣
次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫
送
先

昭和7 二六一九七 暗

武市
本省

十一月三十日後着

歐、會

内田外務大臣

豊原領事代理

第八三號

往電第八一號ニ關シ

哈府「インスナブ」(ダリゴストルグ)本部ヨリ本月十六日附書

面ヲ以テ今後中央ヨリノ指令ニ基キ各領事館ヘノ配給ハ一切之ヲ「

トルグシン」ニ於テ行ハシムルコトニ決定セラレタル旨ヲ通知越セ

リ

外
務
省

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

E.1.1.0.5-1

昭和7 二六五五〇

莫斯科本省

二日後發着

歐一

内田外務大臣

第八六九號

浦潮發本使宛電報

第一四六號

當地在留民ハ從來其主食物タル白米ノ配給ヲ當地「トルグシン」ヨ
リ受ケ居リタル處日貨暴落ノ爲現在其價格「ブード」八圓以上ニ
當リ在留民ノ財政狀態ニテハ之カ購入至難ナルニ加ヘ既ニ久シク「
トルグシン」ニハ現物無ク在留民中一箇月以上一粒ノ米ヲモロニセ
サルモノアル狀態ナルヲ以テ當館ヨリ「クヅネツオフ」ニ對シ本邦

外務省

記録件名を
おたふし
るに
な
る
程
に
な
る

ヨリ在留民日用白米ノ輸入ヲ許可スルカ又ハ「トルグシン」カ之ヲ
本邦ヨリ輸入シ相當ノ價格ヲ以テ配給スルカノ方法ヲ以テ本問題解
決方交渉中ナリ又民會ヨリモ在哈府「クライ、トルグ」並ニ貴地「
ウネシトルグ」ニ對シ前記趣旨電請中ナルカ問題ノ性質上之ヲ當地
ニ於テ急速解決スルコト困難ナルニ付貴地當局ニ對シ本邦ヨリノ輸
入許可方交渉ノ上結果御回電ヲ請フ
哈府へ暗送セリ

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

昭和 二六五四六 暗

莫斯科
本省

二日後發
十二月四日後着

歐

内田外務大臣

天羽代理大使

第八七〇號

滿洲發本官宛電報

第一四九號

往電第一四六號ニ關シ

當地「トルグシン」ハ最近白米ヲ賣出シタルカ中央ノ命令ナリトテ
從來ノ「ボルトワヤ」價格（一疋二十哥）ヲ以テスル販賣ヲ拒否シ
「ゴードスカヤ」價格一疋三十五哥即一布度約十五圓ヲ以テ販賣シ
居レル處右値段ハ本邦ノ約七倍ニ當リ在留民ハ到底斯カル高價ナル

外務省

白米ヲ購入スル事出來得サルニ付本邦ヨリ輸入ヲ許可シ難キ場合ハ
「トルグシン」自ラ本邦ヨリ輸入シ之ヲ相當ナル價格ヲ以テ在留民
ニ賣出ス様御交渉相成様致度シ
哈府へ暗送セリ

外務省

大臣 次官 電信課長 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和7 二六五四八 暗 莫斯科 十二日 後發 通二
 内田外務大臣 天羽代理大使
 第八七四號
 貴電第四六三號ニ關シ
 一日緒方ヲシテ「ブシンスキー」ニ御來示ノ次第ヲ申入レシメタル
 處右ハ既ニ利權本部ニ傳達濟ナルモ尙更ニ「ダリルイバ」ニ至急指
 令方督促スヘク右ハ單ニ手續上ノ問題ナレハ年内ニハ片附クナラン
 ト答ヘタル趣ナリ
 浦潮ニ轉電シ、哈府ニ暗送セシム

外務省